

江差町国民健康保険 データヘルス計画 ～ダイジェスト版～ (第1・2期:2018～2023年度)

平成30年3月
江差町



江差町キャラクター
しげっち

1. データヘルス計画とは

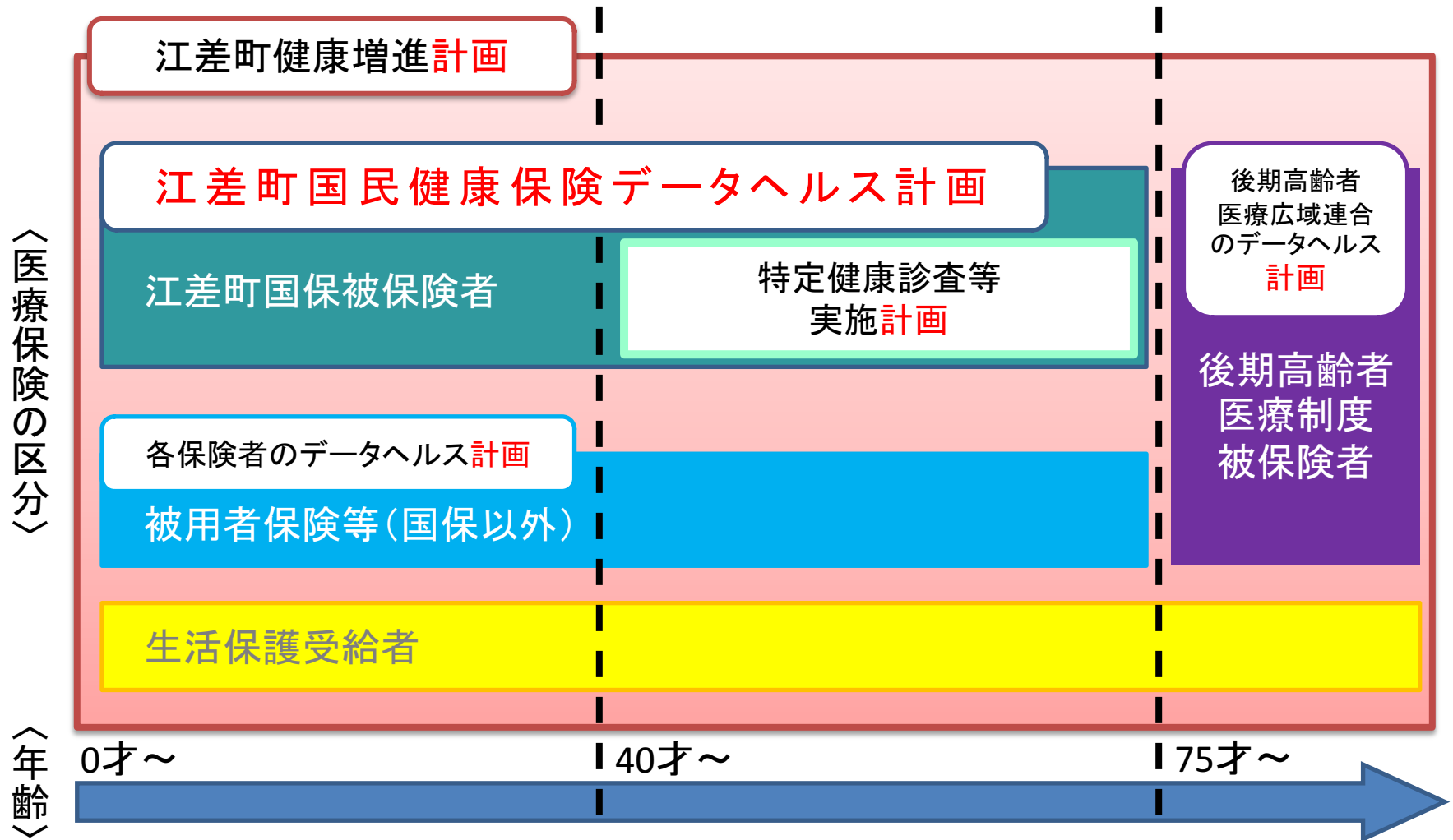
1) 背景

わが国の高齢化率は年々増加し、平成26年には25.9%と世界のトップ水準であり、これまで世界のどこの国も経験したことないような超高齢化社会に突入することになります。

超高齢化の進展に伴い、働き盛り世代からの健康づくりの重要性が高まる中、政府が金融政策、財政政策に続く、第3の矢として発表した「日本再興戦略」では、“国民の健康寿命の延伸”が重要な柱として掲げられ、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康の保持増進のための事業計画として、“データヘルス計画”の作成・公表・事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取り組みを行うこと」が掲げられました。

1. データヘルス計画とは

2) 計画の位置づけ ～各計画の対象者～



2. 江差町の現状

1) 江差町の健康課題

生活習慣

- 女性の喫煙率が高い、不適切な生活習慣も女性が全国比で高い項目が多い
- 塩分摂取量が多い(H23年道調査: 14.8g)

健診

- がん検診の受診率が低い
- 肥満(腹囲・BMI)、血糖・クレアチニンの有所見率が高い

医療

- 脳梗塞の受診率が全道1位である
- 高血圧性疾患の1人あたり診療費が50代から急激に増える。

介護

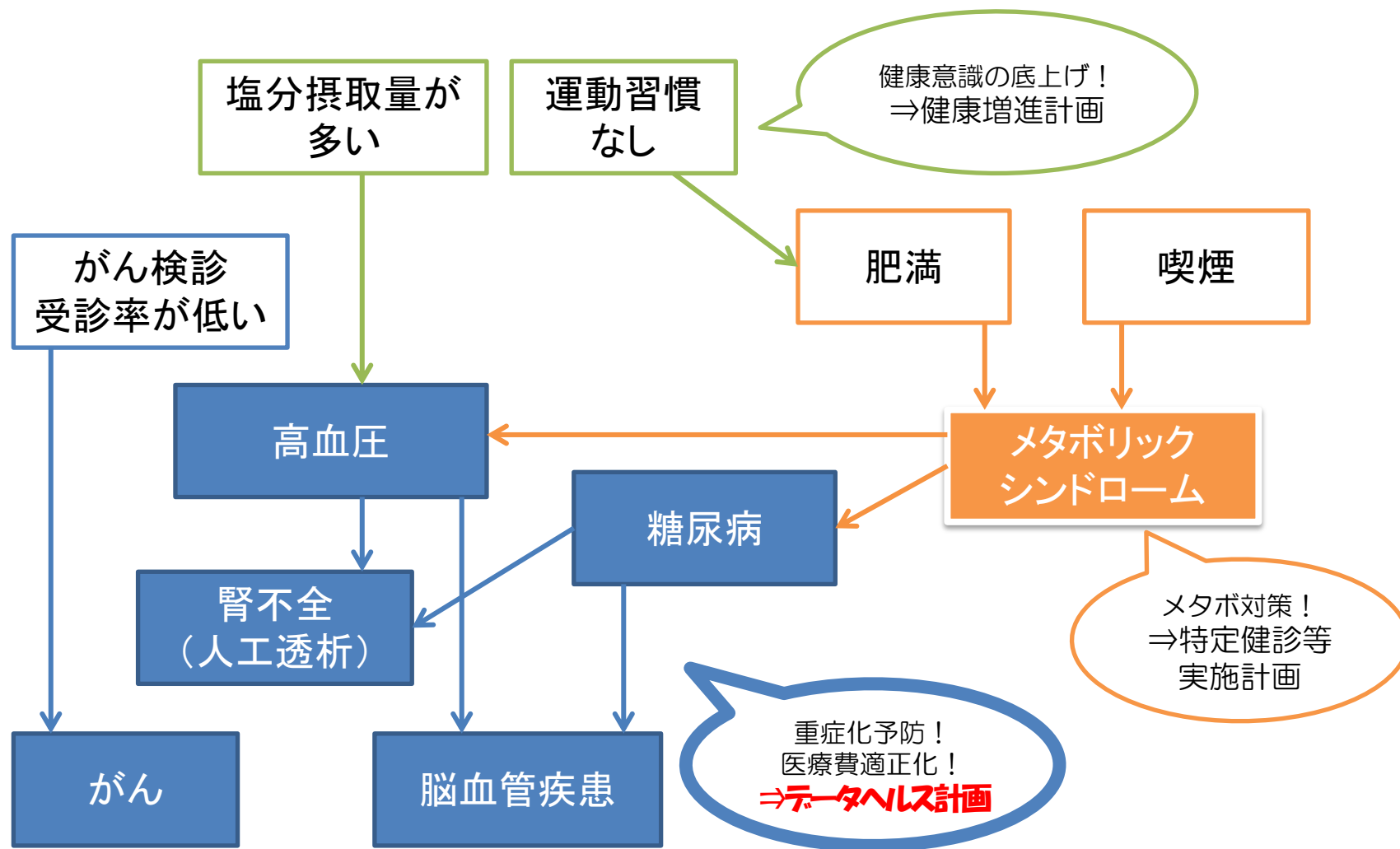
- 糖尿病や脳疾患が原因で介護が必要になる人が多い
- 1件あたりの介護給付費が高い

死亡

- 平均寿命、健康寿命とも全国と比べて短い(特に女性)
- 肺がん、大腸がんなど、検診で早期発見が可能ながんの死亡が多い

2. 江差町の現状

1) 江差町の健康課題



3. 中長期目標・短期目標の設定

1) 長期的な目標

- ・被保険者の高齢化に伴い、生活習慣病による受療者の増加が予測される中で、生活習慣病の重症化予防に取り組み、脳血管疾患・虚血性心疾患の発症や糖尿病性腎症による新規透析者数の減少を図り、医療費の伸びを抑制する。

3. 中長期目標・短期目標の設定

2) 中期・短期的な目標

対策	目標
がん検診対策	がん検診受診率・精密検査受診率の向上
高血圧対策	高血圧性疾患にかかる一人あたり診療費・受診率の減少
糖尿病対策	糖尿病性腎症による新規透析者数の減少
脳血管疾患予防対策	脳梗塞・脳内出血にかかる一人あたり診療費・受診率の減少
ジェネリック医薬品対策	ジェネリック医薬品の普及率の向上
重複・頻回受診者対策	重複・頻回受診者数の減少

4. 保健事業の展開

1) がん検診対策

○検診受診率の向上

無料クーポン券の配布	国の新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を活用し、40歳女性に対し「乳がん検診」、20歳女性に対し「子宮がん検診」の無料クーポン券の発行を行う。
検診費用助成	町で費用助成を実施しているほかに、国保被保険者に対しては、さらに国保独自で費用助成を行う。 (ただし、他保険被保険者と不公平感がない様、助成額については検討を行う)
受診体制の整備	検診予約方法について、従来より柔軟に対応できるよう体制を整備し、ハガキ予約等予約方法について検討を行う。
検診イメージの向上	集団検診名称を「特定健診・胃肺大腸がん検診」⇒「巡回人間ドック」と統一し、多くの項目を同時受診できることをPRする。

○精検受診率の向上

連絡票の発行	精密検査が必要になった方に対しては、連絡票を発行し、受診状況について確認を行うほか、未受診者に対しては、再勧奨を行う。
--------	---

4. 保健事業の展開

2) 高血圧対策

○家庭血圧の普及

特定健診場面での保健指導の実施	受診者全員に対し、特定健診の血圧測定で、測定結果を区分に分けてお知らせし、高値の方については、家庭血圧の正しい測り方および目標値(135/85mmHg未満)について指導を行う。
連絡票の発行	血圧が受診勧奨値(160/100mmHg以上)で未治療である者に対し、家庭血圧について指導を行い、1週間の測定で家庭血圧が、平均して135/85mmHg以上である者に対しては、連絡票を発行し、受診勧奨および受診状況の確認を行う。
家庭用血圧計のレンタル	自宅に自動血圧計のない者に対し、「家庭血圧計」の貸し出し(1ヶ月間)を行う。また、「血圧記録手帳」を配布する。

○塩分さし替えレシピ(えさしレシピ)の普及

えさしレシピの配布	健診結果説明会で、血圧が保健指導値(130/85mmHg以上)である者に対し、レシピを配布し、減塩指導を行う。
尿中塩分濃度測定の実施	健診結果説明会で、特に食生活への関心が低い層に対して、尿中塩分濃度測定を実施し、減塩に対しての意識付けを行う。

4. 保健事業の展開

3) 糖尿病対策

○保健指導の充実

検診結果 説明会の実施	特定健診等でHbA1c5.6%以上の者に対して、江差町の特性も考慮した保健指導(姥神大神宮祭時期のお酒との上手な付き合い方等)や糖分模型など視覚的に分かりやすい教材を活用し、保健指導を実施する。
連絡票の発行	特定健診等でHbA1c6.5%以上または空腹時血糖値125mg/dl以上の者に対して、連絡票を発行し、受診勧奨および受診状況の確認を行う。

○南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトの推進

医療機関との連携	特定健診等でHbA1c7.0%以上かつ尿蛋白(±)以上、またはかかりつけ医師の判断で生活状況の確認が必要と判断された者に対し、医師の指示のもと、保健指導・栄養指導を実施する。
----------	---

○糖尿病性腎症の予防(減塩指導の強化)

血清クレアチニン 検査の実施	国の指針により、特定健診の血清クレアチニン検査は詳細項目として定められているが、全受診者に対して、特定健診独自追加項目として実施する。
えさしレシピの 普及	健診結果説明会で糖尿病(または疑い)があり、推定GFR60未満である者に対し、レシピを配布し、減塩指導を行う。
尿中塩分濃度測 定の実施	健診結果説明会で、特に食生活への関心が低い層に対して、尿中塩分濃度測定を実施し、減塩に対しての意識付けを行う。

4. 保健事業の展開

4) 脳血管疾患予防対策

○脳ドックの実施

脳ドック費用の 助成

国保被保険者を対象に2年に1度(定員100名)、検診費用の助成を行う。また、脳ドック事業のPRにあたっては、レセプト分析データを活用し、当保険者が脳梗塞受診率1位であることを広く周知する。
※費用助成額については、2018年度まで詳細脳ドックについて、全額助成(32,400円)をしているが、他保険非保険者と不公平感のない様、検討を行っていく。

○事後指導の充実

結果説明会 の実施

特定健診受診者と同様に、脳ドック受診者に対しても結果説明会を実施し、高血圧・糖尿病等各対策と連動して保健指導を行う。

要精密検査者 の受診状況の 確認

脳ドックの結果で、要精密検査という判定となった者に対しては、受診状況の確認や受診勧奨の指導を行い、精検受診率100%を目指す。

4. 保健事業の展開

5) その他の医療費適正化対策

○ジェネリック医薬品の普及・啓発

医療費通知の送付	年3回、被保険者に対し、医療費通知を送付し、医療費の適正化に対する意識を高める。
知識の普及	被保険者証の更新時期に、ジェネリック医薬品に関するパンフレットや希望シールを同封し、知識の普及に努める。

○重複・頻回受診者への保健指導の実施

対象者の共有	重複・頻回受診対象者として、国保連合会から提供されるリストについては、国保医療係・健康推進係で共有し、保健事業等で対象者と接する機会に、受診状況等について確認を行う。
保健指導の実施	3ヶ月以上連続 で下記対象となった者等、レセプト情報を確認した結果、不適切な受診や服薬状況が推測される者に対しては、国保医療係より、保健師の健康相談勧奨や薬の適正利用に関する通知を発行の上、必要な方には訪問等により、保健指導の実施を行う。

重複受診・・・1ヶ月に同一疾病での受診医療機関が複数ある者

重複服薬・・・1ヶ月に同一薬剤または同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関から処方されている者

頻回受診・・・1ヶ月に同一機関での受診が頻回である者